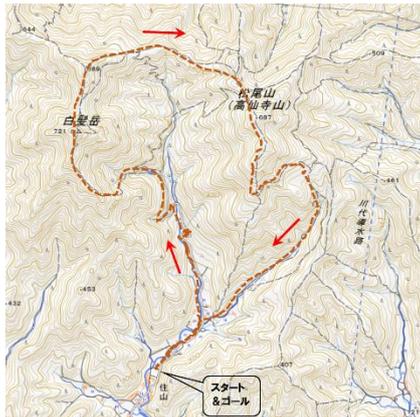


6月10日 白髪岳

木田 修司

山名	白髪岳 (722m)	山行名	例会
ルート	住山登山口 → 白髪岳 → 水山 → 松尾山(高仙寺山) → 住山登山口		
山行日	2022.6.10 (金)	天候	晴
参加者	リーダー：木田 サブリーダー：北條 男性：廣瀬 女性：玉井、幾田、玉置 合計：6名		

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
住山登山口 (駐車場)	着	08:15	鐘掛の辻	着	12:10
	発	08:30		発	12:15
登山道入口 (東屋)	着	09:00	松尾山	着	12:45
	発	09:05		発	12:55
尾根 (岩場取付)	着	09:40	高仙寺 本堂跡	着	13:20
	発	09:50		発	13:25
白髪岳	着	10:25	松尾山 登山口	着	14:10
	発	11:10		発	14:10
水山	着	11:20	住山登山口 (駐車場)	着	14:20
	発	11:35		発	14:40

当初の 2022 年度山行計画は平日の例会が少ないことから、関西百名山で岩場があり、下山後温泉に浸れるところを探して急遽計画した。この時期は梅雨入りの頃となることから心配していた天気も、丹波の地は晴天で迎えてくれた。YAMAP 地図の「P」マーク場所を確認し、登山口により近い場所で駐車出来るスペースがあったが、安心できそうな地図表記の場所を選んだ。平日なので？他に車輛はなかった。

- ① 登山口からの林道は緩い勾配の砂利道で、30分で登山道入口の東屋に着く。この先の登山道を気にしながらも少しの休憩で体調を確認。
- ② それなりに急峻な道を、木々が陽光を防ぐ中を登り 40 分程で尾根に出る。ここからは白髪岳から周回して登る「松尾山」の清楚な姿を正面に望めた。
- ③ 尾根からは、Tさん待望の岩場が始まった。ロープが設置してあるコース外をあえて難易度の高い岩に取り掛かろうとするTさんに驚きながらも見守った。山頂まで変化に富んだ岩場を楽しめた。白髪岳は、周囲 360 度の眺望があり、山行部の「地図の見方講習会」で習った山座同定を復習した。昼食時には少し早いですが、松尾山は眺望が期待できないこと、朝食が早かったことから早い昼食とした。
- ④ 白髪岳から水山(689m)までの間は、一気に下り、落ち葉で滑りやすくロープを頼らざるを得なかった。勾配は 60 度位あるように感じたが、周回後の松尾山から見ると 45 度程度で体感と違いに驚く。
- ⑤ いくつかのアップダウンを経て松尾山(684m)山頂へ、周辺は山城跡となっている。
- ⑥ 松尾山からの下りも結構な勾配で落ち葉も多くロープが張られているが、午後の下りでの事故発生が多いことを参加者で確認し合いながら、慎重に足を運んだ。
- ⑦ 途中のある少しの平地には、鎌倉時代に建立された「高仙寺本堂跡」の礎石や石垣が残っていた。
- ⑧ 標識設置が少なく山道は分かりにくいこともあり、一万分の一の地図とヤママップを見比べ確認をしながらの下山となった。

ヒヤリハット：なし



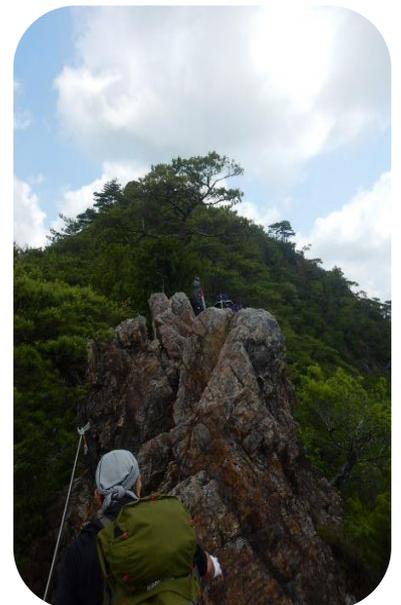
岩場の取付前の休息



東方には松尾山



私たちは平場より岩が好き





白髪岳山頂



アップダウンの繰り返し



白髪岳 (左)・松尾山 (右) の遠望



松尾山山頂

## 白髪岳山行 感想文

幾田 邦江

白髪岳の山頂手前の岩場は、縦に登るのではなく、ロープを頼りに斜めに登るような感じで面白かったです。又、松尾山へと向かう下りは勾配きつく、ロープを頼らずにはいられなかったです。変化に富んだ白髪岳と松尾山の 2 つの山は、又チャレンジしたいと思いました。帰りのお風呂も計画していただき、和気あいあいとした楽しい山行でした。

玉井美智子

登山口早々急坂あり、岩場ありで天気も良く眺めも良くて、関西百名山の白髪岳と松尾山に登りました。6名皆和気あいあいと楽しかったです。帰りには源泉かけ流しの温泉にも入って、その後アワアワ、コロッケでお腹も満足になりました。運転の木田さんごめんなさい。ありがとうございました。楽しかったです。

玉置 安世

私の大好きな白髪岳にまたまた行けました。梅雨間近で心配でしたが、お天気にも恵まれました。稜線までは辛いのみ。稜線に出るといよいよ岩出没。岩のところがもう少し続いて欲しいといつも思う。

白髪岳で早めのお昼。コンビニで調達した冷やし中華。中華の夏がきました。下りは基本的にどれも急で頼っては行けないロープをつかんで下りました。低山ながらバリエーション豊かな山です。帰りはお約束の温泉。癒されます。露天風呂やら源泉やらいっぱいあってもうちよっと入りたかったな。kさん、企画から運転から何もかもありがとうございます。同行の皆さまありがとうございます。楽しかったです。

廣瀬 秀憲

白髪岳は入会して間もなく面白い山だから一緒に登ろうと先輩から誘われたが、都合が合わず参加できなかった。以来気になっていた山です。

登山口の東屋を白髪岳へスタート。標識はしっかりあるが道はあまり整備されていない。途中から稜線まで急登が続きかなりきつかった。尾根に着くと景色はよく気持ちよい風に、一服。楽な尾根歩きはすぐに岩場となった。ロープあり鎖あり急峻で狭い岩道が続く。体のバランスが悪いため慎重な歩みとなる。間もなく頂上に。狭いが721mで360度の見晴らしがよい。早い昼食の後、水山まで下り、687m松尾山に向かう。松尾山頂上は酒井城跡の標識がある。比較的フラットで、ところどころ山城特有の曲輪跡を感じさせる地形が残っていた。一気に卵頭群まで下り本仙寺本堂跡から出発地点へ。

白髪岳頂上付近の岩場は低山だが危険を感じさせ面白かった。松尾山は土道で安全だが、歴史好きには興味がわく山だと思う。地形の異なる山が連なっていることを不思議に思う。

関東が梅雨入りした中、天候に恵まれ時々の涼風に気持ちよい山行を楽しみました。

おまけに温泉付きでありがとうございます。リーダーの細やかな気配りに感謝！感謝！

北條 都

白髪岳は、結構な岩場やロープを張ったところがあり、高さの割にいろいろと楽しめ、思ったより面白い山だった。

SLとして、先頭を歩いたが、道がわかりにくくて時々どっちへ行こうかと立ち止まると、後ろから「赤い印が先の木にありますよ」と声が掛かり見ると確かに赤いリボンが木にくくってある。二番手の方が、余裕があって見つけやすいみたいで非常に助かった。

ネットの登山投稿をみても道がわかりづらかったとあったので、私だけではなかったと一人で納得。頼りないSLだったが、無事下山することができた。

CL、参加の皆さん、ありがとうございました。